

第5章 都営大江戸線(わいわい会編)

第1節 都庁前～飯田橋(第91回わいわい会にて)

2023年9月19日(火)晴れ、第91回わいわい会(高松一高同窓歩き会)を都営大江戸線(都庁前～飯田橋)で実施。秋の日差しの中、総勢5名が都庁前駅に集合し、大都市東京の風情を堪能しながら、飯田橋駅までの営業キロ5.8kmをゆっくり散歩する。総勢5名が完歩すると共に反省会までお付き合い願う。主幹事として感謝感激で一杯となる。通算営業キロは、**1万5千25km(活動日数743日、日本の鉄道の54.2%、地球円周の37.5%)**となる。



※都庁前駅

都営大江戸線つたい歩きは、2023年4月に引き続き3度目の挑戦。しかし、過去の2回の歩きとも、飯田橋から都庁前方面の歩きであったので全くアングルが異なり新鮮味を感じた。

各駅到着時刻は次の通り。

都庁前（10：10）～新宿西口（10：32）～鬼王神社（10：55）～東新宿（11：07）～
抜弁天（11：20）～ランチタイム（11：40～12：40）～若松河田（12：47）～牛込麴
町（13：06）～牛込神楽坂（13：36）～小休止（13：50～14：30）～飯田橋（15：
05）～反省会（15：20～18：00）



※新宿西口駅、鬼王神社への路、鬼王神社境内で幼少時代の映画ポスターと遭遇



※東新宿駅

本日の歩きで特筆すべき事項は次の通り。

① 独身時代過ごした抜弁天・余丁町界隈を通過



※抜弁天への路、巖島神社

②Sekihara でのランチタイムは最高であった。



※Sekihara でのランチ



※若松河田駅



※牛込麴町駅

③時間調整もあったが、これまで91回のわいわい会を通じ、「反省会の前で一息入れる歩き方もあるなあ」と新しい発見する。

ベローチェで次回第92回わいわい会の日時・集合場所が決定する。2023年11月28日（火）10時、都営大江戸線飯田橋駅1階（前方に高速道路あり）とする。

④神楽坂での反省会は最高であった。



※神楽坂は懐かしい。牛込神楽坂駅、神楽坂は15年～20年位前、高松一高関東桜紫会の幹事会会場があった関係で何度も往来させてもらう。また、独身時代、フコク生命本社が飯田橋駅界隈にあった関係で。



※飯田橋駅への路



※都営大江戸線の飯田橋駅



※楽しい反省会（神楽坂の居酒屋）

第2節 飯田橋～両国(第 92 回わいわい会にて)

2023年11月28日（火）快晴、第92回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）は、小春日和の中、第91回わいわい会に引き続き、都営大江戸線（飯田橋～両国：営業キロ5.9 km）に挑戦する。都営飯田橋駅に7名、そして本郷三丁目駅から1名合流したため、総勢8名でのウォーキングとなる。参加人数は想定した人数を下まったが、1名新規参加者があり感謝また感謝。これで通算営業キロは、**1万5千251 km（活動日数753日、日本の鉄道の55.1%、地球円周の38.1%）**となる。



※都営飯田橋駅(結団式)

一方、歩くスピードは個人個人まちまちであったが、総営業キロ 5.9 km を約 5 時間を要して全員無事歩き切る。また、反省会と夕食会は全員参加とはいかなかったが、**当初を超えるプランが実現でき**主幹事として嬉しいほっとする一日となった。本日楽しいひと時を過ごさせ頂き、ご参加頂いた各位にこの場をお借りし熱く厚く御礼申し上げます。

今回の旅は上記以外に次のような事項も実現でき、第 92 回わいわい会は主幹事として大満足する一日となった。

- ① 紅葉が見頃だった小石川後樂園を散策できた。(10 時 42 分より)





② ”まるしょう”でランチ会を一堂に会してできた。(12時15分～13時15分)



③合格の神様！！湯島天神にも参拝できた。(13時27分より)



④厩橋（うまやばし）から素晴らしいアングルでスカイツリーを観ることができた。
（15時10分）



一方、今回の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

飯田橋(10:36)～春日(11:36)～本郷三丁目(11:59)～上野御徒町(13:57)～新御徒町
(14:29)～蔵前(14:55)～両国(15:55)



※東京ドーム周辺を歩く、春日駅



※本郷三丁目駅で総勢8名となる（第2回わいわい会のアップ駅）



※上野御徒町駅



※新御徒町駅への道筋は大回りとなる



※新御徒町駅



※蔵前駅への路、蔵前駅



※両国駅への路



両国駅（解団式）

加えて、反省会を通じて、いすみ鉄道（社長は母校出身）の更なる発展を願って、次のような第93回わいわい会の構想を本日参加メンバーから賛同を得る。



※ベローチェで反省会

(^^♪・・・・・・・・(^^♪・・・・・・・・

第93回わいわい会（いすみ鉄道・小湊鉄道乗り鉄の旅）

<日時> 2024年3月20日（水）春分の日

<行程> 養老溪谷散策と食事会

① 東京9:02 → 大原10:50（外房線他）

大原駅界限散策

② 大原11:47 → 上総中野12:43（いすみ鉄道）

③ 上総中野12:51 → 養老溪谷13:01（小湊鉄道）

養老溪谷散策&食事

※食事は大新（0436-96-0862）

④ 養老溪谷16:33 → 五井17:39（小湊鉄道）

⑤ 五井17:59 → 東京19:00（内房線他）



※目利きの銀次で夕食会（反省会）

第3節 両国～築地市場（第95回わいわい会にて）

2024年9月21日（土）、第95回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）を開催。今回の歩きは、都営大江戸線の両国駅から築地市場駅までの営業キロ6.5km。JR両国駅に9名が揃うが、ランチ後門前仲町駅より、諸事情から途中で4名がアップされ、本日終点の築地市場駅までのメンバーは5名となった。しかし、反省会で新たに2名の参加者がおられ、本日の総勢は11名となった。主幹事として感謝の気持ちで一杯となる。これで通算営業キロは**1万6千34km（活動日数793日、日本の鉄道の57.9%。地球円周の40.0%）**となる。



※JR 両国駅（結団式）

本日の駅舎立ち寄りなどの時刻は次の通り。

JR 両国駅(10:09)～両国駅(10:20)～森下駅(10:37)～清澄白河駅(10:54)～清澄庭園(11:10より)～ランチ(11:30より)～門前仲町駅(12:16)～富岡八幡宮(12:30より)～月島駅(14:19)～勝どき駅(14:37)～築地市場駅(15:09)～反省会(15:30より)



※両国駅、森下駅への路



※森下駅、清澄白河駅への路



※清澄白河駅、清澄庭園

①本日は天気にも恵まれ、明日が秋分の日にも関わらず、蒸し暑い環境での歩きとなった。でも門前仲町まで落伍者もなく9名で歩くことができ、主幹事としてほっとする。大江戸線は3回目であるが、今回の歩きのコースが最もいいスポットであると改めて感じた。また、これまでの2回の大江戸線の歩きは反時計周りであったが、本日は時計周りのため風景は全く異なり、新鮮味があった。

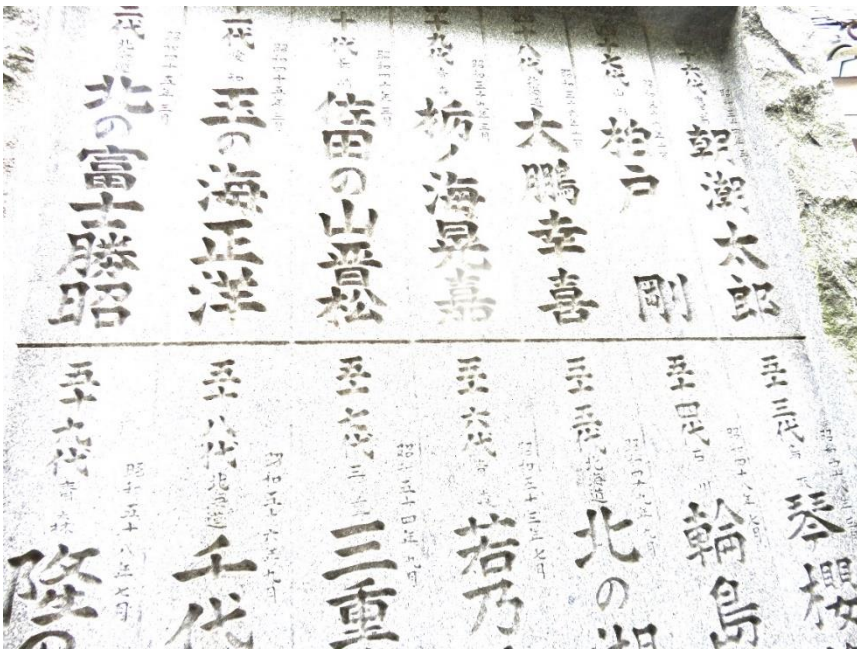


※蕎麦匠でランチ、門前仲町駅

②清澄庭園や400年の歴史をもつ富岡八幡宮にも立ち寄ることができ、ラッキーであった。富岡八幡宮は20年位前、高松一高のハイキング会で立ち寄った神社で懐かしくなる。横綱力士碑は”2024年9月18日1万6千キロ達成”を機に、新たに歩き鉄2万キロの目標を樹立したのをそうそうたる横綱力士の方々からエールを頂いたような錯覚もした。私の歩き鉄踏破実績から振り返り、相撲道の世界で置き換えると、1万キロ踏破が十両昇進、1万2千キロが幕内昇進、1万5千キロが関脇昇進、1万6千キロが大関昇進、そして2万キロが横綱昇進のように思えた。従って、これから4千キロの上積は相当な体力・財力などが必要となり未完成の確率は非常に高いが、天や神のご加護を得て何とか5年先を目指し達成したいものである。加えて、偶然にも日本地図を策定した伊能忠敬公の像にも立ち寄ることができ、感無量となる。



深川不動堂、横綱力士碑



※富岡八幡宮



※伊能忠敬公像前で、明治丸

③会場の都合などで、清澄界隈の蕎麦屋で9名全員が一堂に会いしてランチをとれなかったが主幹事として誠に残念であった。しかし、築地市場駅界隈の築地すし好や星乃珈琲で反省会ができ、締めとして最高であった。反省会の席上で次回第96回わいわいは**11月30日(土)**で決まる。集合場所：大江戸線築地市場駅地上入口前、集合時間：10時、歩く区間：築地市場～国立競技場（営業キロ7.5km）で対応予定。



※月島駅、勝どき駅への路



※勝どき駅、築地市場駅

④本日も大過なく歩くことができ、本日ご参加頂いた各位にこの場をお借りして熱く暑く御礼申し上げます。次回の第96回わいわい会も宜しくお願い致します。



※築地すし好にて



第4節 築地市場～国立競技場（第96回わいわい会にて）

2024年11月30日（土）快晴の小春日和、第96回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）を開催。総勢10名（うち1名は飲み会から）の参加がある。本日の行程は都営大江戸線の築地市場駅から国立競技場駅までの営業キロ7.5kmをつたい歩き。この区間は2023年のゴールデンウィークに単独で歩き終えている。紅葉が見頃な大東京の街並みを鑑賞しながら、一日を満喫する。本日の歩きで、通算営業キロは**1万6千120km**（活動日数798日、日本の鉄道の58.2%、地球円周の40.3%）となる。



※築地市場駅

本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

築地市場(10:27)～汐留(10:57)～大門(11:20)～赤羽橋(13:17)～麻布十番(13:35)～六本木(14:17)～青山一丁目(14:52)～国立競技場駅(15:33)

①築地市場駅からの歩きは9名となった。当初は10時10分スタートを予定していたが、交通事情などの関係から10時27分のスタートとなる。浜離宮庭園脇を歩き、汐留駅をわいわいと語りながら目指す。途中、黄色く色づいた銀杏並木を通過する。くねくねした幹線道路を経由し、汐留駅には10時57分到着。この駅にはゆりかもめの駅も合流していた。そして、方向転換し、懐かしい大門駅には11時20分到着。



※汐留駅への路



※浜離宮庭園前、汐留駅



※汐留駅界限、大門駅

②JR 浜松駅や大門駅界限は、2008年1月から10年位、高松一高関東桜紫会幹事会で通った場所で懐かしくなる。また、幹事会終了都度近くの居酒屋に立ち寄らせて頂いた。その会議室を使用させて頂いた笠井設計 KCD ホール前を通過し、赤羽駅を目指す。しかし、誤って三田本面に進んでおり、大回りとなる。本日は地図を持参せずに臨んだため、要所要所でナビを確認しながらの歩きとなる。途中、12時過ぎにジョナサンがあったので13時過ぎまでランチタイムとする。ラッキーにも一堂に会して食事ができる。



※ジョナサンでの食事会

③女性3名は食事のあと、コーヒを飲むとのことで、午後からは男性6名での歩きとなる。というのは、15時半を目途に本日終着駅の国立競技場駅に到着する必要（寺西先輩との再会）があったため、先を急ぐことにした。旗を山本さんに預けたため、黄色い旗なしの歩きとなる。高速道路下傍にある赤羽橋駅には13時17分到着。この駅から東京タワーが一望できた。道なりを淡々と歩いた先に麻布十番駅（13時35分）があった。かつて讃岐会館があった界限にはクレーン車があった。数年先の総合的な大型ビルを目指し建設中であった。



※東京タワー、赤羽橋駅

④13時52分、麻布十番駅界限には十番稲荷や港区七福神詣での門（宝船）がある道筋を通過。14時5分、六本木中学校前を通過。14時8分、朝日神社前を通過。坂道を上り、六本木駅には14時17分到着。往来が多く、この駅舎での集合写真は撮影できず。駅前にはボランティアの人が数名いた。恐らく、外国人などの観光案内だろうと類推する。



※麻布十番駅



※讃岐会館が生まれ変わる



※六本木駅への路



※六本木駅

⑤ナビを時々見ながら、追隨してくれる5人の仲間を意識しながら、幹線道路を淡々と歩く。14時33分、千代田線の乃木坂駅を通過。14時50分、青山中学校前を通過。青山一丁目駅には14時50分到着。そして紅葉が見頃な並木道を歩き、JR信濃町駅界隈を経由して本日の終着駅の国立競技場駅を目指す。信濃町駅界隈で古井さんがアップする。寺西先輩とジョナサンで別れた代表の山本さんから現在場所の確認がある。それらの対応をしながらの歩きとなる。国立競技場駅には15時33分到着。この駅で3人の女性陣と合流して8名となる。この駅前で写真を撮影後、藤本さんがアップする。



※青山一丁目駅への路



※青山一丁目駅

⑥寺西先輩とは、何回も携帯でのやりとりの結果、やっと JR 千駄ヶ谷駅（15 時 45 分）で合流できる。わいわい道中記を紐解くと随所に寺西先輩が登場する。本日も 95 歳を過ぎても元気なお姿を拝見し、感服また感服で一杯となる。この界限は反省会の店が少ないため、メンバーの合意を得て新宿駅まで移動する。ここで 8 名の体制となる。新宿駅の改築工事などにより通路が一変しており、はぐれるメンバーが発生し、反省会は私の行きつけの店（天狗）で 16 時 50 分位から開始となる。時間の関係から 1 次会の喫茶店はパスする。私は急遽家事都合ができて途中解散（18 時）となったが、楽しい一日を過ごすことができる。寺西先輩の提案でわいわい会新年会は 2025 年 1 月 21 日（火）11 時半より、本日の反省会会場（新宿西口パレットビル 7 階：天狗：03-5325-0750）開催と決まる。また、第 97 回わいわい会は 3 月 4 日（火）で決定する。今回のわいわい会を通じ、旅記録の重要性をひしひしと肌身を感じる。感謝の気持ちで一杯となる。この場をお借りして、本日参加頂いたメンバーに厚く熱く御礼申し上げます。



※国立競技場駅への路、青山中学校



※国立競技場、国立競技場駅



※JR 千駄ヶ谷駅



※天狗で反省会（忘年会）



※2025年1月21日（火）、わいわい会新年会の会場

第5節 当初の都営大江戸線歩き

1. 麻生十番～本郷三丁目（第2回わいわい会にて）

平成13年2月17日（土）第2回わいわい会として、大江戸線に挑戦。10時20分頃から宇賀神さんと新宿を起算として反時計回りで歩きとなった。麻布十番で記念写真を撮った。麻布十番近郊の専売病院の隣が讃岐会館と思い行ってみたところ、讃岐会館なし。反対の方向に行ったのだろう。宇賀神さんにはご迷惑をかけた。昼食は築地で鉄火丼を食べた。マグロが新鮮で美味かった。次男圭亮の合格発表もあり落ち着いた一日でもあったが、産声をあげたばかりの大江戸線をタイムリーに探索でき充実した一日であった。



麻布稲荷神社前

木内さんと携帯電話を通じて森下で待ち合わせたものの、築地から勝どき、月島、門前仲町といった道がわからず焦燥を感じた。今考えれば時間に追われて現在地点を正しく究明できなかったのが敗因の一つである。「急いでいる時程冷静さが必要である」ことを改めて感じた。地図の再確認や通行人に聞くなどして、30分位約束時間から遅れたが、木内さんとは森下で無事会うことができた。勝どきから森下のいずれの駅も清澄通りにあった。両国、御徒町を通り、時間の都合から本郷三丁目アップとなる。万歩計は39,725歩（営業距離20.1km）を記録した。夕方6時から情報誌打ち上げ（新宿虎連坊）があったため。

2. 光が丘～本郷三丁目

大江戸線の続きは、2001年5月19日(土)となり、光が丘から本郷三丁目までの20.5 Kmを歩いた。光が丘でのスタート時刻は8時半となっていた。この時、大江戸線に初めて乗車した。車両の幅が普通の電車に比べ一回り狭いことにビックリした。この日も水道橋にある神田パンセ(貸会議室)で3時から関東同窓会代議員会があるので時間との闘いとなった。中井駅からの光景は素晴らしかったのでスケッチでもしたい気分であった。練馬の区役所が立派なことに驚いた。

新宿区と中野区が複雑に絡み合っている東中野近郊を通過した。都庁前には12時頃着いた。西口を通り、明治通りにある伊勢丹の近くの「めしや井」での定食は値段の割には豪華で美味しかった。抜け弁天、余丁町、東京女子医大、神楽坂という地名を通り飯田橋に着く。この地名は昔独身寮が余丁町にあったため懐かしく感じた。その他若松河田や牛込柳町という地名も懐かしく思えた。抜け弁天では祭りが行なわれていた。飯田橋、水道橋、東京ドームの横を通り本郷三丁目に着く。本郷三丁目では丁目の関係でちょっと迷ったため、神田パンセに3時を少し過ぎて到着した。本日は時間に追われ大変であったが無事大江戸線をクリアできた。万歩計は、50,755歩を記録した。